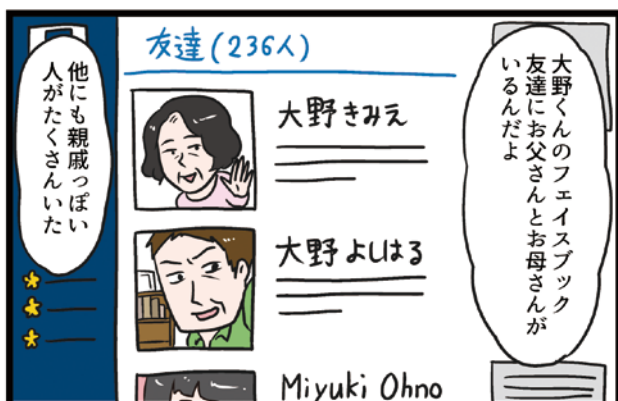
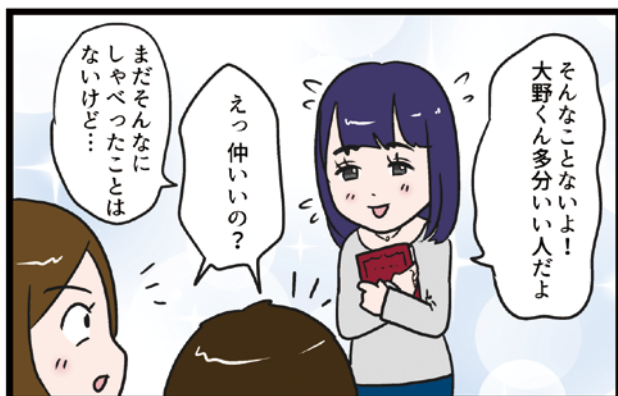


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.23 新学期とSNS



App Store アプリ のお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタル
プラクティス

アプリのダウンロード
はこちら (無料)

デジタル
会誌「情報処理」プラクティス



情報処理学会 会員募集中!!

IT に関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪ / 自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.58 No.3 (Mar. 2017)



【特集：2020 年に向けた情報処理技術】

- 特集「2020 年に向けた情報処理技術」の編集にあたって
相澤彰子 他
- 単一磁束量子回路向けマイクロプロセッサのアーキテクチャ探索
石田浩貴 他
- オープンデータ時代のスキーマ・フュージョン技術
山口真弥 他
- タスクスケジューリング問題におけるレディ状態の割当て削減による PDF/IHS の高速化
中村あすか 他

【特集：IoT 時代のインターネットと運用技術】

- 特集「IoT 時代のインターネットと運用技術」の編集にあたって
吉田和幸
- FESTIVAL : Design and Implementation of federated interoperable Smart ICT services development and testing platform
Toyokazu Akiyama 他
- 無線 LAN の通信品質推定における MAC 層情報の有効性調査
新谷隆文 他
- OpenFlow ネットワーク移行支援システム
野村圭太 他
- リスクベースセキュリティによる記憶媒体の自己保全
二村和明 他
- SSH パスワードクラッキング攻撃におけるデータサイズを用いる検知手法の提案と運用評価
清水光司 他

【一般論文】

- タッチスクリーンのホバー検知機能を用いた入力予測に基づく操作応答時間低減方式*
大西健夫 他
- レビュー間の合意形成と不具合再修正に関する一考察 ~ OpenStack プロジェクトを対象としたケーススタディ ~†
林 宏徳 他
- NTMobile を無限の規模に拡大できる仮想 IPv4 アドレス管理方式の提案
加古将規 他
- Proposal of WEP Operation with Strong IV and Its Implementation
Yuhei Watanabe 他
- 電源自立型の土砂災害監視カメラシステムの構築と評価*
西 正博 他
- 情報セキュリティリスク環境下における自身の管理する情報の開示に関する意思決定モデルの提案
藤田邦彦
- 動的エージェント負荷分散機構の開発
村田悠也 他
- 音声ドキュメントを検索対象とした用語検索†
森田直樹 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Mar. 2017)

【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.10 No.1】

- 能力の小さい 1 ビットセルオートマトンで生成可能な数列についての考察
上川直紀 他
- E-voting System Based on the Bitcoin Protocol and Blind Signatures
Cruz Jason Paul 他
- 脳波から求めた複数特徴量の組み合わせによる生体認証
石川由羽 他
- 進化型神経回路網モデルによるデータ駆動型ブランディング手法の提案
綿貫真也 他



【論文誌 データベース Vol.10 No.1】

- 完全準同型暗号による安全頻出パターンマイニング計算量効率化
今林広樹 他
- Supervised Approaches for Japanese Wikification
Shuangshuang Zhou 他

- 携帯電話通信履歴に適した移動滞在状態推定手法の提案

小林 直 他
神谷孝明 他

- 並列ログ先行書き込み手法 P-WAL



【Transactions on Bioinformatics Vol.10】

- Rule-based Assembly for Short-read Datasets Obtained with Multiple Assemblers and k-mer Sizes
Ayako Oshiro 他



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特別解説「アメリカ大統領選挙は、ICT産業に影響を与えるか」「ピコ太郎『PPAP』はなぜ世界的にヒットしたのか？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最新の話題をテーマにしているという点においては、学会発行雑誌としての新たな取り組みを評価しますが、既存のWebニュース記事をまとめた内容にとどまっている印象を受けました。(匿名希望)

特集「豊かな体験をつくるエンタテインメントコンピューティング技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■読みやすく分かりやすかった。(匿名希望)

■まったく知らなかったのので、勉強になった。内容は少し難しいものもあったが飽きずに読むことができた。さらに学習してみようと思った。(澤 佳祐/ジュニア会員)

「1. エンタテインメントコンピューティングを俯瞰する」

■動画サイトを記載してもらって実際に動いているところを見せてもらえるのとより分かりやすいと思いました。(藤森英明)

■とても興味深く、色々勉強させていただきました。(匿名希望)

「4. メディア表現からエンタテインメント応用へ」

■「ただしこの人種とは…ではない」との補足説明がありますが、正しくはどのようなものなのかの説明はなく不親切ではと思います。また、図には補足がなく「人種」とあるため誤解を招く表現ではないかと思います。(匿名希望)

小特集「人をエンパワーする情報学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「超スマート社会」という言葉が何回か出てきます。科学技術基本計画や他学会誌で使われているそうですが、初見の読者もかなりいると思いますので、その定義についても触れていただきたかったです。(匿名希望)

■答を出しにくいことが多い内容と考える。人が幸せになることは必要条件だと思うが、短期と長期、個人と社会など、主体によってその解が異なると思うので、技術や社会情勢を踏まえた上で、個別に最適解を求めなくてはならないだろう。(匿名希望)

■特集・小特集の両方に CarryOtto が載っており、実際には困難なのかもしれませんが、重複を避けるような編集ができれば望ましいのではと思います。(匿名希望)

「1. 人をエンパワーする情報学」

■具体的な写真が多く、目をひかれた。また、分かりやすかった。(匿名希望)

「4. The Alchemists of Our Time」

■情報工学とどのような関係があるのか分からなかった。(澤 佳祐/ジュニア会員)

「5. 改めて人の能力の拡張について考える」

■現代社会に対して、「所有」、「支配」、「拡大」を価値観とする「エンハンスメント」は、問題では？という問題提起が印象に残りました。この問題提起から、逆に「共有」、「協生」、「サステイン」に基づくエンハンスメントが大事なのではと考えました。(藤森英明)

■記事に興味は持てたが、情報学との関連性が見えなかった。(匿名希望)

■広く工学が「人間の能力」をどう向き合うべきかを考えさせるものであり、小特集のテーマや情報工学の領域を超えます。多くの方に読んでいただきたいものです。(山田菊子)

■大変興味深く読ませていただきました。(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：高専プログラミングコンテストの熱い戦い」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私が、高専生でプログラミングコンテストにも興味があるので興味を引いた。競技部門が主に紹介されていたが競技者側だけでなく運営者側のことも分かり、読みごたえのある記事だった。また、「PROCON@Online」について知らなかったのので、登録してみようと思う。(澤 佳祐/ジュニア会員)

教育コーナー「ぺた語義：教育に活かすマインドフルネス」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報処理分野との接点を読み取れませんでした。(匿名希望)

■最近興味を持っていたのですが、本誌で関連する記事が読めたことは意外なうれしい驚きでした。このテーマ

のくわしい解説記事もぜひ読んでみたいと思いました。
(匿名希望)

連載「ビブリオ・トーク：√」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■大変面白かったです。読んでみます。(匿名希望)

連載漫画「IT 日和」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■2編の漫画は10歳の息子にウケていました。vol.20はどうして?と聞いてきたので、2進法を教えました。
(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■潜在意識を分析しデータ化することは、多方面で利用可能だと思った。
(長山知由理)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■読み応えのある記事が多く、楽しめました。解説がタイムリーであり、特集が2本とも人を元気にする情報学の技術動向であり、新年を明るく迎えるにあたり良い企画でした。
(匿名希望)

■特集、小特集ともに、技術が人間に近づいてきており将来を考えさせられる記事でした。
(匿名希望)

■オントロジ技術の解説をお願いしたいです。(匿名希望)

■本会誌は専門的な内容に限らず、身近な話題や、最新の時事ネタに関する記事も多く掲載されており、いつも楽しく拝読しています。
(匿名希望)

■深層学習のマーケティングへの応用について知りたいです。
(匿名希望)

■海外の研究者から見た日本のICT技術に関する意見をお聞きしたいです。
(匿名希望)

■紙面バックの写真が、可読性を損ねているように感じます。
(中沢信之)

■今回も事例を中心に、非常に興味深い内容でした。
(匿名希望)

■ゲームエンジニア向けの記事、レンダリング関連の記事を希望する。
(持田恵佑)

■表紙デザインについては異論があります。いわゆる「萌えキャラ」を連想させる女子生徒のデザインを選択することは、情報処理学会の品格を落とすことにはならないでしょうか。女性も含めた多様な方々を受け入れようとさまざまな取り組みをされている会誌とは一致しないメッセージを発信する作品を選ばれたように考えます。
(山田菊子)

【本欄担当 谷田英生、北山大輔/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声を寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	東海支部2016年度学生論文奨励賞論文募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(水)		
	論文誌「超スマート社会に向けた高度交通システムとモバイル通信」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-E.html	3月31日(金)		
	論文誌「社会の知的化を先導するコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-D.html	4月10日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-J.html	4月21日(金)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-F.html	4月28日(金)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-C.html	5月9日(火)		
	論文誌「Advances in Collaboration Technologies」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-L.html	5月10日(水)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-M.html	5月11日(木)		
	論文誌「若手研究者」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-K.html	6月7日(水)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/18-H.html	8月2日(水)		
3月16日(木)～	情報処理学会第79回全国大会	12月9日(金)	2月10日(金)	名古屋大学
3月18日(土)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/		当日可	東山キャンパス
3月17日(金)	情報システム教育コンテスト (ISECON2016) http://miyagawa.si.aoyama.ac.jp/wiki/isecon2016.sidebar	11月25日(金)		東京電機大学 東京千住キャンパス
3月21日(火)～	第21回教育学習支援情報システム研究発表会	1月27日(金)	当日のみ	京都大学
3月22日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle21.html			
3月23日(木)～	第49回バイオ情報学研究発表会	2月9日(木)	当日のみ	北陸先端科学技術 大学院大学
3月24日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio49.html			
3月30日(木)	第126回情報基礎とアクセス技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat126.html	2月16日(木)	当日のみ	国立情報学研究所
4月17日(月)～	第159回ハイパフォーマンコンピュティング研究発表会	2月24日(金)	当日のみ	東京大学
4月18日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc159.html			情報基盤センター
4月24日(月)～	The1st.cross-disciplinaryWorkshoponComputingSystems, Infrastructures,andProgramming (xSIG2017) http://xsig.hpcc.jp/	12月21日(水)		虎ノ門ヒルズ フォーラム
5月10日(水)	第180回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm180.html	3月10日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
5月10日(水)～	第207回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	3月6日(月)	当日のみ	名古屋大学
5月11日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvm207.html			
5月12日(金)～	第163回アルゴリズム研究発表会	3月7日(火)	当日のみ	長崎県建設総合会館
5月13日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al163.html			
5月25日(木)～	第77回コンピュータセキュリティ・	3月9日(木)	当日のみ	高知工科大学
5月26日(金)	第37回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec77iot37.html			永国寺キャンパス
6月5日(月)～	2017年ハイパフォーマンコンピュティングと計算科学 シンポジウム (HPCS2017) http://hpcs.hpcc.jp/	1月30日(月)		神戸大学先端融合 研究環境研究拠点
6月28日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2017)	3月21日(火)	参加登録開始は 2017年4月を予定	定山溪万世閣ホテル ミリオネ
6月30日(金)	シンポジウム http://dicomo.org/cfp/			
8月30日(水)～	DAシンポジウム2017	6月9日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥
9月1日(金)	http://www.sig-sldm.org/das/			
9月12日(火)～	FIT2017第16回情報科学技術フォーラム			東京大学
9月14日(木)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2017/			本郷キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月7日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 2月7日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
- 2月6日 デジタルプラクティス「デザイン・アートと ICT の融合によるサービスのイノベーション」特集論文募集
- 2月1日 2017 年度役員改選の投票について
- 2月1日 2017 年度代表会員の選出について

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（〔募集職種、募集人員、（所属）、専門分野、（担当科目）、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立研究開発法人情報通信研究機構

情報通信研究機構は、将来のICTに関する研究開発を担う人材を公募します。観る（センシング）、繋ぐ（ネットワーク）、創る（データ利活用）、守る（サイバーセキュリティ）、拓く（フロンティア）の各分野と、それに加えて異分野融合・分野横断型の新たな情報通信イノベーションへの取り組みにも期待します。

募集人員 研究職員（パーマナント研究職員またはテニュアトラック研究員）および、パーマナント研究技術職員を合わせて 10 数名程度
募集分野 (1)センシング基盤分野、(2)先端的ネットワーク分野、(3)情報解析・利活用分野、(4) ICTセキュリティ分野、(5) ICTフロンティア分野、(6)情報通信に関する多様なイノベティブな技術開発推進

着任時期 原則として2018年4月1日

応募書類 •研究職員：(1) 訪問票（当機構指定様式^{*}）、(2) 研究経歴書（要約を含む）、(3) 論文リスト（誌上発表および口頭発表別）、(4) 主要な研究業績（主な著書あるいは論文3点程度・別刷・コピー可）、(5) 研究計画書

•研究技術職員：(1) 訪問票（当機構指定様式^{*}）、(2) 経歴書（要約を含む）、(3) 主要な業績等、(4) 保有する資格・免許・特殊技能等

*訪問票の様式は機構 Web ページからダウンロードしてください。そのほかは様式自由です

応募締切 2017年4月14日（金）17:00（必着厳守） *書面による提出（郵送・宅配便等）のみ受付となります

送付先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 国立研究開発法人情報通信研究機構総務部人事室人事グループ 採用担当

Tel(042)327-7304 Fax(042)327-7590 E-mail: jinjig@ml.nict.go.jp

その他 本公募に関する詳細は、必ず機構 Web ページ (<http://www.nict.go.jp/employment/index-top.html>) をご確認ください



■福井工業大学環境情報学部経営情報学科／情報学

募集人員	教授、准教授または講師 各分野それぞれ1名
所 属	環境情報学部経営情報学科
専門分野	以下 (1)、(2)のうち、いずれかに該当すること (1)情報学（データベース、情報システムなど） (2)情報学（ネットワーク、セキュリティなど）
担当科目	専門分野 (1)（データベース、情報システムなど） ：データベース論、情報システム論、プログラミング、PBLなどで大学院の関連科目を含む 専門分野 (2)（ネットワーク、セキュリティなど） ：ネットワーク論、ネットワークセキュリティ、プログラミング、PBLなどで大学院の関連科目を含む
応募資格	①博士の学位（取得見込み含む）を有する方（履歴書に学位を明記）、②教育・研究、そして学生の学業・生活・進路指導に熱意があり、学科運営にも積極的に参加、高校などへの出張授業などの地域貢献もできる方、③教養科目として開講されている基礎的な数学科目も担当可能な方、④外部資金の獲得に積極的に取り組み、学科のプロジェクトへの企画・参加ができる方、⑤採用後は、福井市近郊に居住することができる方
待 遇	給与は当学園規程による
着任時期	2017年10月1日
応募書類	①履歴書（市販A版、本人自筆、要押印、現職およびE-mailアドレスを明記） ②教育研究業績書（A4用紙、本学指定様式あり（Webページに掲載）） ・教育実績（教授したことのある科目など、社内教育も含む） ・研究業績（学術論文、国際会議論文、口頭発表、著書、特許、その他に種別し、それぞれ300字程度の概要をつけること） ③最近5年間の主要研究論文の別刷（5編以内、コピー可）：企業の方は携わった開発の概要をもってこれに代えても構いません ④これまでの研究と今後の研究に対する抱負（A4用紙1枚程度） ⑤教育に対する抱負（A4用紙1枚程度） ⑥本人について参考意見をうかがえる方2名の所属、氏名、連絡先、E-mailアドレスおよび本人との関係を記載した書類（様式自由）
応募締切	2017年5月31日（水）必着（持参または郵送にてご応募ください）
選考方法	書類選考で候補となられた方には、最終面接の前に本学にて学科面接をさせていただきます。その際、推薦書（A4用紙、様式自由、推薦者1名）の持参をお願いします
送 付 先	〒910-8505 福井県福井市学園3-6-1 学校法人金井学園 法人本部 経営企画部 経営企画課採用担当 応募書類は、封筒表に「大学教員応募書類（経営情報学科）（1）または（2）」と朱書きし、持参または簡易書留にてご提出ください。 応募において提出いただきました個人情報、本学個人情報の保護に関する規程に準じて適正に管理し、今回の採用選考以外の目的には使用しません。また、応募書類は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、料金に不足のないよう切手を貼付の上、返信用封筒を同封してください
問 合 先	環境情報学部経営情報学科 主任教授 松岡博幸 Tel(0776)29-2431（直通） E-mail: matsuh@fukui-ut.ac.jp
そ の 他	募集情報URL：http://www.kanaigakuen.jp/recruit/



CONTENTS

Preface

- 270 In Pursuit of Grand Challenge
Hiroaki KITANO (Sony Computer Science Labs, Inc.)

IPSJ Editorial Committee Special

Official LINE Stickers of Information Processing Society of Japan are Now Available!!

- 273 Introduction of official LINE Stickers of Information Processing Society of Japan
LINE Stickers Group of IPSJ Editorial Committee
- 274 Explanation on the Features of LINE Sticker and Expectation for the Official Stickers of Information Processing Society of Japan
Yuuki KATO (Sagami Woman's Univ.) and Shogo KATO (Tokyo Woman's Christian Univ.)
- 278 The Process of Creating Official LINE Stickers
Illustration by Yuka YAMAMOTO

Special Features

Approaching Human Insight and Oversight from the Viewpoints of Cognitive Science and Psychology

- 280 0. Foreword
Hiroaki SUZUKI (Aoyama Gakuin Univ.)
- 282 1. Basic Scheme of Visual Attention for Rising in Awareness
Kazuhiko YOKOSAWA (The Univ. of Tokyo) and Jun-ichiro KAWAHARA (Hokkaido Univ.)
- 287 2. Insight and Oversight in the Medical and Welfare Fields : Insight of Fall and Medication Error
Takashi MATSUO (The Univ. of Kitakyushu)
- 291 3. Human Insight in Civilian Life : In Case of Political Decision Making
Asako MIURA (Kwansai Gakuin Univ.)
- 295 4. Cognition of the Creators Who Produce Intuitions and Insight
Yukari NAGAI (Japan Advanced Institute of Science and Technology)

- 300 5. Suspect Interview Techniques for Detecting False Confession

Kotaro TAKAGI (Aoyama Gakuin Univ.)

- 305 6. Insight of People from Personality Viewpoint - Through a Project to Estimate the Author's Personality from the Text -

Koichi KAMIJO and Tetsuya NASUKAWA (IBM Research - Tokyo)

Article

- 310 Various Techniques Supporting the Data Interoperability Problems

Hiroyuki KATO (National Institute of Informatics)

"Peta-gogy" for Future

- 319 How To Develop The Ability To Think

Michiko OBA (Future Univ. Hakodate)

- 320 "What Do you Do with Ubiquitous Computing", A Unique Approach for Carrier Design of ICT by Aomori Prefecture

Shinji SHIMOJO and Izuru HISAMURA (Osaka Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 327 Translation BANK

Eiichiro SUMITA (National Institute of Information and Communications Technology (NICT))

- 324 Activities of IPSJ - Special Reports by the Female Team of IPSJ Magazine -

- 328 Biblio Talk

- 330 Conference Report

- 332 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しく下さい】

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. () -
- [3] E-mail:
- [4] 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他..... 4- []
- [5] 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他..... 5- []
- [6] 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上..... 6- []
- [7] 性別：(a) 男性 (b) 女性..... 7- []
- [8-1] あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ..... 8-1- []
- [8-2] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない..... 8-2- []
- [9] どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
 (a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他..... 9- []
- [10] 今月号（2017年4月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 巻頭コラム：グランドチャレンジの追求..... 10-1- []
- 編集委員会特別企画：情報処理学会公式 LINE スタンプができました！！
- 情報処理学会公式 LINE スタンプのリリースにあたって..... 10-2- []
- LINE スタンプの特徴の解説と情報処理学会公式 LINE スタンプへの期待..... 10-3- []
- 情報処理学会公式 LINE スタンプができるまで..... 10-4- []
- 特集：人の気づきに迫る
1. 気づきを生み出す人の注意..... 10-5- []
2. 医療・福祉の現場において、気づきを生み出す人の認知..... 10-6- []
3. 市民生活における人の気づき..... 10-7- []
4. デザイン・芸術の気づきを生む人の認知..... 10-8- []
5. 「気づき」を生み出す被疑者面接技法..... 10-9- []
6. パーソナリティという見地からの認知..... 10-10- []
- データ相互運用問題を支える技術..... 10-11- []
- べた語義：考える力を育てる..... 10-12- []
- べた語義：青森県のユニークな人材育成の取り組み「ユビキタス？君なら何する？？」..... 10-13- []
- 女子部が行く：第11回 セミナー推進委員会..... 10-14- []
- IT好き放題：翻訳バンク..... 10-15- []
- ピブリオ・トーク：アドレナリンジャンキー..... 10-16- []
- 会議レポート：The International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (SC16) 参加報告..... 10-17- []
- 会誌編集委員会女子部..... 10-18- []
- 連載漫画：IT日和..... 10-19- []
- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事..... 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家..... 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 人の気づきに迫る：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，ア kreditation 対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザリーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

今回の特集のテーマの「気づき」が「情報処理」と関係あるのか？と思われた読者も少なからずいると思います。しかし、「気づき」が人間に輸入される「情報」と考えると、実は「気づき」は「情報処理」とは切り離せない関係があると考えられます。そして、人間の「気づき」のシステムを理解することは、情報処理に携わる人にとって非常に重要であるとも考えられます。

ここ数年、情報処理の世界では、ビッグデータに関する研究や議論が盛んに行われてきました。たとえば、本会誌でも、2014年と2015年に特集が組まれています。人間では処理しきれない膨大なセンサやライフログのデータ等のビッグデータを入力情報として分析して、社会や人間生活に活用させるわけですが、その分析結果の出力情報を利用するのは最終的には人間です。言い方を変えると、いくら情報検索機能が充実しても、あるいは、いくら人間が気づかないようなセンサデータを利用して分析できても、その結果の情報を人間がうまく活用できなければ意味がありません。

そこで、原点に立ち戻って、人間自身がどのようにして普段の生活で情報を無意識に、または本能的に認知して、

それを活用しているか、ということを知ることは、情報処理に携わっている人にとってとても重要だと考え、今回の特集を組む運びとなりました。

しかし、IT企業に勤務する私にとって、そのような特集記事を書くことができる人を集めるのは至難の業です。そこで、本特集の記事に書いた性格推定のプロジェクトでいろいろアドバイスをいただいた、社会心理学の専門家である関西大学の北村英哉教授にまず相談をしました。そして、認知科学の専門家で、日本認知科学会前会長の青山学院大学の鈴木宏昭教授を紹介していただき、ゲストエディタを引き受けていただきました。さらに、鈴木先生から、各分野での認知科学、心理学の専門家の先生方に声をかけていただき、さまざまな場面（人の注意、医療・福祉、市民生活、デザイン・芸術、司法）における「気づき」の記事を執筆いただくことができました。本特集の記事により、自身の「気づき」を再確認していただき、さらに、それが情報処理の研究開発のお役に立てれば幸いです。最後に、鈴木先生、北村先生、著者の方々、および閲読をしていただいた委員に御礼申し上げます。

（上條浩一／本特集エディタ）

次号（5月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」チューリング賞 50 周年にあたって

チューリング賞特集にあたって／チューリング賞の創設／チューリング／2人のチューリング賞受賞者との思い出—Don Knuth と Bob Tarjan —／賞の価値は受賞者たちが創る／賞と多様性／記憶の中のチューリング賞／チューリング賞 50 人から学ぶこと／Andrew Yao との思い出 他

「特集」博士課程進学の特典・デメリット

博士課程に進学するタイミング／アカデミア研究者を目指すなくても博士号を目指すという選択／選択する自由、選択する責任—大学教員になって感じたこと—／社会人博士ライフ 8 合目／人間万事塞翁が馬／研究のみに 3 年間をつぎ込める／働きながら通う博士後期課程／一番リターンの大きい投資／社会人博士として学位を取得して 他

教育コーナー：ぺた語義

連載：IT 日和／会誌編集委員会女子部／国内 750 大学の調査から見てきた情報学教育の現状／女子部が行く！／ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

会議レポート：ISAAC 2016 会議報告／COLING 2016 参加報告

学会活動報告：情報処理の知識の最前線！～情報処理学会の連続セミナーと Exciting Cording！

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円 (税込 356,400 円)	—	—
表 3	275,000 円 (税込 297,000 円)	—	—
表 4	385,000 円 (税込 415,800 円)	—	—
表 2 対向	300,000 円 (税込 324,000 円)	—	—
表 3 対向	265,000 円 (税込 286,200 円)	190,000 円 (税込 205,200 円)	155,000 円 (税込 167,400 円)
前付 1 頁	250,000 円 (税込 270,000 円)	165,000 円 (税込 178,200 円)	135,000 円 (税込 145,800 円)
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円 (税込 86,400 円)
前付最終	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
目次前	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税込 297,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 58 巻 4 号 掲載広告（五十音順）

☐ インタフェース 表 2 ☐ 産業技術大学院大学 表 3 下
☐ オージス総研 表 2 対向 ☐ 電子情報通信学会 表 3 上

☐ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT DATA

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

**TREND
MICRO**

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。

レコチョク

(株) レコチョク